

はくぶつかんネット第57号



平成28年 7月~12月 宜野湾市立博物館発行

第25回ぎのわんの文化財図画作品展

表彰式



受賞おめでとうございます！

日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

当館では9月28日(水)から10月23日(日)まで、第25回ぎのわんの文化財作品展を開催しました。市内の小学校3年生から中学校3年生を対象に、宜野湾市の文化財に親しみを持ってもらおうと毎年文化財図画作品展を開催しており、今年で25回目を迎えました。

10月1日(土)には、小学校中学年(3・4年生)の部、小学校高学年の部(5・6年)の部、中学生の部のそれぞれの部門ごとに教育長賞、金賞、銀賞、銅賞に選ばれた作品の表彰式が行われました。

表彰式の様子



知念春美教育長の挨拶





教育長賞のご紹介



小学校中学年の部
仲地 輝
(普天間小学校)



小学校高学年の部
知念 拓人
(普天間第二小学校)



中学生の部
知念 大樹
(普天間中学校)

今年度は小学校 109 点、中学校 66 点、計 175 点の出展があり、市内の様々な文化財の特徴を捉えて描かれていました。特に湧き水を題材にした作品が多く、改めて水が豊富な宜野湾なのだと実感させられました。また、鮮やかな色彩の作品や細かく丁寧に描きこまれた作品が多く、躍動感があり、どれも個性豊かな素晴らしい作品ばかりでした。



また来年も

皆さんの沢山のご応募をお待ちしています！



夏の企画展『ムラを守る神々』 終了いたしました！

去った7月27日(水)から9月4日(日)まで、夏の企画展「ムラを守る神々」を開催しました。

この企画展では、各字のウタキ(御嶽)や拝所、その時使用していた物などを展示しました。展示品には、ウタキや拝所から出土した、お皿、瓶、香炉、キセル(たばこを吸う道具)にお金などがあります。また大謝名の豊年祭の映像と共に、実際に使用していた獅子舞を展示しました。さらに関連講座として、沖縄国際大学非常勤講師の稲福政斉先生を講師に迎え、沖縄に古くから受け継がれる行事の中で使用される道具や供え物、その意味や由来などについての市民講座「沖縄のしきたり歳時記」を開催しました。受講されたお客様からは、実際に行事のなかで使用される物や、写真などを見て、当たり前に行ってきた行事の意味がやっと理解できた、との感想を多くいただきました。

現在、各字にウタキや拝所が設置されていますが、昔は14の字だけにウタキや拝所が設置されていました。現在と昔では、人それぞれ拝む場所は違います。しかし、健康祈願、安全祈願、良縁祈願、子宝祈願など、拝みをする理由はあまり変わらないと言えるでしょう。この代々受け継がれているウタキや拝所を、宜野湾市の人びとがとても大切にしていることを見学された皆様や、講座を受講された皆様に、感じていただけた、関心を持てただけたのではないのでしょうか。



1,000 名以上の方々が足を運んでくださいました！
ありがとうございました！





秋の行楽シーズンも終わりが近づき、次はあっという間に年末がやってきます。

主婦のみなさんは、そろそろ買い物を考え始める頃でしょうか・・・？

現在は、何でも揃うスーパーがあちこちにあります。しかし、かつての買い物といえば、官公庁や市場があり市の中心地であった普天間へ出向いたものです。そこで今回は、官公庁や市場に最も近く、多くの主婦が訪れたグリーンベル商店街（旧公設市場通り）について紹介します。

◆ 中心地、普天間

「宜野湾村」から「宜野湾市」への昇格で盛り上がった1962(昭和37)年、地域住民の生活の利便・経済活動を活発にすることを目的に、普天間に公設市場が設けられました。使用料は1日3.3平方メートルあたり8～10セントで、市場で働く人は普天間の出身者ではなく、市内各地または市外から商売のために通っている人がほとんどでした。販売されていたのは、主に野菜・鮮魚・衣料品・雑貨などの日用品でした。すぐ近くに郵便局や役所があったため、そこで用事を済ませた後に買い物をする客がたくさんいました。

当時、普天間には市役所をはじめとする各官公庁・日用品の店・映画館・アメリカ兵向けのバーなど、様々な施設や店が集まっていた。ここは、たくさんの人が訪れる市の中心地だったのです。



② 1969(昭和44)年 公設市場



② 2016(平成28)年



② 1960年代 公設市場

※地図は現在の住宅地図を参考にしています。
※写真の番号は、地図上の番号と同じ場所です。

市場では、正月前には果物がたくさん売れたよ。当時は計算機やレジ袋がないから、暗算で金額を計算して、果物をセメント袋に入れてお客さんに渡したんだよ。

良い商品を置けば遠い所からもお客さんが来たよ。



① 1960年代 旧市役所庁舎



① 2016(平成28)年

◆ 普天間ドリーム！



③ 1970年代 大売出しのセレモニー



④ 1983(昭和58)年 歩行者天国



⑤ 1994(平成6)年 リサイクル市

熱き若者たちが毎晩のように集まり、先輩たちとの交流が盛んだったんだ。そうして様々な事を教わったんだよ！

商店街のためになる活動には、皆が積極的に参加していたよ。



1980年代まで、地域の商店は規模が小さいため品数が少なく、新鮮な肉・魚・刺身・野菜・果物を手に入れるために遠方からバスを利用して市場や商店街へ買い物に訪れる客が多くいました。現在もバス停留所の名には「普天間市場入口」とあり、その名残があります。

また、商店街には駐車スペースがなく、車で来た客は困っていました。そこで、通り会のメンバーが動き、現在の市民駐車場を商店街の駐車場として利用できるようにしていました。



⑥ 1966(昭和41)年 商店街入口



⑥ 2016(平成28)年 商店街入口

1980年代には、通りの名前が「グリーンベル商店街」へ変わりました。

「グリーン」は平和のイメージ、「ベル」は鐘で、「平和の鐘をならす」という意味で、商店街とその客からの公募で決まりました。

① サンフティーマ

②

グリーンベル商店街

普天間市場入口

宜野湾市役所
国道330号

街づくりが、一からスタートの時代 気概ある熱き商人たちが集まったこの街、商店街は優秀な人材が集まっていた。「街は自分たちで創るもの！！」をモットーにお客様の気持ちを大事にし、そしてまた商売人の気持ちも大事にしていました。イベントや親睦会に積極的に参加し、商人たちは切磋琢磨しながら成長していきましました。なかには、通りで商売を始め、成長して大きくなっていった企業もあります。

まさに普天間ドリームですね！！



グリーンベル商店街の話は次のページも続くよ！ ➡

◆ 商店街の人びと



2016（平成28）年

グリーンベル商店街（旧公設市場通り）は、建物の2階が1階の歩道に飛び出してアーケードをつくる構造になっています。ここで商売をする人は1階で店を開き、2階に住居をかまえて生活していました。住居は店よりも広々として快適です。

1970、80年代の頃、商売が軌道に乗り、繁盛してくると、別の場所へ移り住んで2階の住居部分まで店を広げる所もありました。また、後から来た人が商売を始める場合、1階のアーケード沿いは、すでにいっぱいであることができなかったため、空いている2階で店を開くこともありました。

アーケードの歩道は市道なんだよ。だから、「2階の住居が市道にはみ出しているから、この建築はダメだ」と警察が言いに来ることもあったよ。
建物は昔から全然変わっていないね～。



1980年代 こどもエイサー

（個人より提供）

子どもの時は、普天間三区公民館や建て替えられた市場の屋上が遊び場だったよ。夏はイベントのためにずっとエイサーの練習をしていたんだよ。懐かしいな～。



商店街の人びとは、出身が北谷・中城・北中城などそれぞれでしたが、結束力は強く、通りみんながファミリーの様なものでした。赤ちゃんが産まれるとみんなでお祝いに行ったものです。



商店街の子どもたちの多くは、普天間三区公民館の幼稚園へ通いました。1980年代には同級生にたくさんの商店街の子がいたこともあったとか・・・。

通り会では、親睦を深める為に、新年会・お月見会・海水浴・ピクニックなどを開催し、頻繁に集まっていました。中でもビーチパーティーは、店を休みにして商店街のみんなでおバスを貸し切って行きました。



また、通り会に所属していない周辺の店も、セールや抽選会には一緒に参加しました。歩行者天国の時は、こどもエイサー隊が練り歩いて盛り上げ、通りに出された遊具で遊ぶ子どもたちの姿が見られました。

後に、役所の移転や大型スーパーが近郊に増えたことによって、商店街の客足は以前より減ってしまいましたが、現在も昔ながらの街並みが残っていて感慨深いものがあります。今回の「がちまやあ」作成にあたり、商店街の皆さまへお話を伺いました。店にはベテランの商人が健在で、熱き商人魂が感じられ、それを次の世代へ受け継ごうとしています。ご協力していただいた皆さま、お仕事の手を止めてお話を聞かせてくださり、誠にありがとうございました。

（公設市場や市場通り商店街については、『宜野湾市史』第7巻 資料編6 新聞集成Ⅲ、

『写真集ぎのわん』にも紹介されています。これらの本は、市立博物館および文化課で販売しております。

博物館内の図書室や市民図書館^{えつらん}でも閲覧可能ですので、興味のある方はご覧になってみてください。）



学芸員実習とインターンシップが行われました！

宜野湾市立博物館では、学芸員実習・インターンシップの受け入れを行っています。今年の8月に学芸員実習生として4名、インターンシップ生として2名の大学生が博物館へやってきました！大学生たちの頑張りの様子と、実習を終えての感想を紹介します。



学芸員実習

学芸員実習は将来の学芸員（博物館で働く専門職）を目指す学生さん達が取り組む実習ですので、結構本格的です！開館・閉館のチェックや資料整理といった通常業務のほか、常設展示に関する研究発表や、わらば～体験じゅくのお手伝いなど、12日間一生懸命取り組みました。もりだくさんの内容で忙しかったとは思いますが、その分充実した実習期間になったのではないのでしょうか。

実習では大学の講義と違って実践的なことを多く学び、講義を通して考えていた博物館の仕事のイメージが大きく変わりました。まさに“百聞は一見に如かず”という感じでした。

【琉球大学 喜友名 正弥さん】

博物館実習は4年間学校で博物館学の座学の授業を受けてきたその集大成です。慣れない業務にアタフタしながらも、ここでしかさせてもらえない貴重な業務の経験をさせて頂きました。

【琉球大学 伊波 智稀さん】

大学の授業で、なんとなく博物館の方の働く内容はイメージしていたが、看板作りやアリの駆除など、博物館に関わることはなんでもやるのが学芸員なのだとあらためて認識した。

【沖縄国際大学 我喜屋 優真さん】

博物館の業務やしくみ、体験学習など、実際に体験することで講義だけでは知れない部分を多く学ぶことができました。また、自分の専門外な学問や自分と歳が離れている人たちに触れていくことで、今までと全く違う視点での世界観があることを実感しました。

【沖縄国際大学 儀保 和士さん】



インターンシップ

沖縄国際大学から、2名の大学生がインターンシップに訪れました。

2週間のインターンシップ期間のうち、博物館では2日間の受け入れとなりました。短い期間でしたが、館内の温湿度チェックや収蔵品登録作業など、博物館に関する業務を体験してもらいました。

博物館を利用することはあっても、そこで実際に働くという体験はしたことがなかったので、博物館実習を前にいい経験ができたと思っています。実際に利用する方々がいる以上、机に向かっているだけが仕事ではないことに気付きました。

【沖縄国際大学 高江洲 佑美枝さん】

今回、初めて博物館の仕事に触れさせていただきましたが、小学校、学童、福祉施設などをはじめ、様々な地域とのつながりがすごく意識されているということを感じました。私が学んでいる福祉分野ともつながっていると知り、改めてどの職もいろいろな職と関係しているということを感じました。

【沖縄国際大学 友利 夏美さん】

博物館のミニ標識のヒミツ

宜野湾市立博物館には、さまざまな花や樹木が植えられています。もうお気づきの方もいると思いますが、実は今年の夏から植物の前に小さな標識が設置されています。



これは博物館の植物を紹介する標識で、今年の実習生が実習の一環として作ってくれました！標識はすべて手作りで、設置も実習生が行いました。

標識が完成！植物の方言名や楽しい豆知識も紹介しています。たくさん見つけて、たくさん読むと植物博士になれるかも？いろいろ探してみよう！



※駐車場内に設置されている標識もあります。
探す時は車に気をつけよう！

実習生のみなさん、標識作りお疲れさまでした！

博物館 Information

◆常設展示室をリニューアルします！

開館から17年、設備も古くなり、故障してしまったものも…。

そこで常設展示室をリニューアルすることになりました！

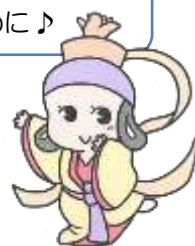
リニューアル工事のため、12月12日(月)から常設展示室への入場ができなくなります。

工事期間は、平成28(2016)年12月～平成29(2017)年3月までの予定です。

しばらくの間ご迷惑をおかけします。リニューアル後の常設展示室にご期待下さい！

新規オープンは、平成29年4月下旬を予定しています。

見学を希望する方は
お早めに♪



◆利用案内

■開館時間：9時～17時

■休館日：毎週火曜日・年末年始(12月29日～1月3日)

祝日(慰霊の日と文化の日は除く)

※火曜日と祝日が重なった時は、翌日の水曜日も休館です。

その他、臨時休館になる場合もあります。

■問合せ

〒901-2224 宜野湾市真志喜 1-25-1

TEL：098-870-9317 FAX：098-870-9316

<http://www.city.ginowan.okinawa.jp>

